

さかい

農委だより

令和8年 新春号

(第124号)

堺市堺区南瓦町 3 番 1 号
TEL 072-228-6825(直通)
FAX 072-228-7410



編集・発行 堺市農業委員会

第50回 堺市農業祭が開催されました

令和7年11月23日(日・祝)、生産者自らが実り多き秋を喜ぶとともに、堺市の農業を広く市民の皆さまに紹介し、農業への理解を深めていただくために、第50回堺市農業祭が大仙公園で開催されました。

今回は、長年にわたり開催されてきた農業祭が第50回という節目を迎え、堺産農産物「堺のめぐみ」・農地・担い手を未来へと繋いでいくというメッセージを込めて、「～半世紀のめぐみ次の世代へ～」をテーマに掲げて開催されました。

JA堺市女性会による手作り味噌や堺の伝統産品などの販売・PRコーナー、農業機械の展示コーナーなどに加え、出展ブースも増加しました。

当日は、好天に恵まれ、「とれとれ市」や「花市」では、野菜・果物・草花などの直売に、早朝から多くの方が来場されました。また、「シルバニアファミリー ハーベストフェスティバル in Sakai 2025」なども開催され、秋の1日を家族の皆さんで楽しく過ごしていただきました。

農業委員会は、「催し広場」にテントを設置し、農業委員会の活動を紹介するパネルの展示や、それに関連したクイズを実施しました。また、農業委員・農地利用最適化推進委員が事務局職員とともに「新規就農・農業相談コーナー」を開設し、来場者のご相談に対応しました。

普段は農地や農業委員会に接する機会の少ない方々にも興味を持っていただき、農業委員会の活動を知っていただく良い機会となりました。

＜堺市農業祭は、堺市・JA 堺市・堺市農業委員会の三者で構成する堺市農業祭運営協議会が主催しています。＞



とれとれ市



開会式



新年のご挨拶

農業委員会 会長 北 尻 芳 孝

新年明けましておめでとうございます。お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃は、本農業委員会活動にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近年の農業を取り巻く情勢は、世界的な人口増加に伴う食糧需要の増加や気候変動に伴う大規模災害の発生、また、ウクライナ情勢などの地政学リスクによる資源供給の不安定化や円安による輸入コストの増大による生産資材費高騰の影響が重なり、生産者・消費者ともに厳しい状況が続いています。とりわけ日本人の主食であるコメについて申し上げますと、昨年の備蓄米放出後、コメ価格は短期的には下落傾向がみられましたが、新米価格の上昇により、依然として高止まりの状態が続いており、需給の不安定な状況が続いています。

このような中、昨年11月には、関係者のご尽力のもと、堺市農業祭が、従来よりも規模を拡大し、節目となる50回目の開催を迎えることができました。堺の三大まつりのひとつとして、生産者自ら実りの秋を喜ぶとともに、様々な催しを通じて、ご来場いただいた皆様に堺の農業を紹介することができました。なかでも「とれとれ市」や「堺のめぐみ直売コーナー」などにおきましては、コメをはじめとする地元産農産物の販売が、例年以上に多くの皆様に喜んでいただけたのではないかと感じております。

さて、本委員会は、令和5年7月から新体制となりましたが、3年間の任期も残すところ半年となりました。依然として、農業を取り巻く状況は、高齢化や後継者不足、遊休農地の増加など厳しさを増しております。昨年3月末には、堺市におきましても、10年後の地域農業の在り方や、めざすべき将来の農地利用の姿を明確にすべく「地域計画」が策定されました。「地域計画」の実現に向けた農地と担い手のマッチングは、農業委員会が継続して取り組む重要な業務となります。今後とも、そのようなマッチングを通じた「担い手への農地利用の集積・集約化」をはじめ、「遊休農地の発生防止・解消」や「新規参入の促進」といった農地利用の最適化の推進に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様のより一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



農地パトロールの実施結果をお知らせします

令和7年度農地パトロール（利用状況調査）を、8月と9月に行いました。利用状況調査は、遊休農地の実態把握と発生防止などの目的で、法律上農業委員会が年1回行うことが義務付けられています。

今年度の利用状況調査の結果は下記のとおりです（令和7年10月末現在）。

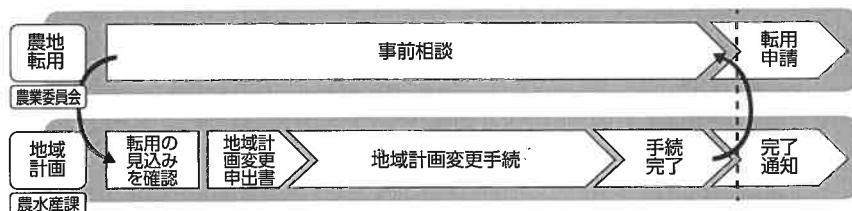
調査前の耕作放棄地面積89,109㎡に対し、調査後の耕作放棄地面積88,998㎡
耕作放棄地解消面積2,880㎡（内訳：営農1,044㎡・転用等1,836㎡）

遊休農地（耕作放棄地）と判断された農地については、農用地利用集積計画制度による貸借のあっせんを行ったり、農業委員・農地利用最適化推進委員による耕作指導など、解消に向けた取組を行っていくことになります。



農地転用に係る地域計画の変更について

- 農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画内の農地の転用許可については、あらかじめ地域計画の変更手続が必要です。
- 転用許可に係る事前相談は開始できますが、転用申請は地域計画変更後に行う必要があります。



＜地域計画変更申出書についてのお問合せ＞
農水産課 電話：072-228-6971

＜転用許可申請についてのお問合せ＞
農業委員会事務局 電話：072-228-6825

STOP!! 農地の違反転用 !!

違反転用について

農地において、建築物の建設や駐車場・資材置き場にする等、農地を農地以外の目的に利用（農地転用といいます）する場合、農地法に基づく許可（市街化区域内農地の場合は届出）が必要です。

しかし、こうした許可や届出がないまま、農地転用が行われる（違反転用といいます）場合があり、違反転用はその多くが農地所有者や転用事業者が農地転用許可制度を認識していなかったことが原因となっています。

手続せずに無断で農地転用すると…

違反となり、工事の中止や原状回復の命令がなされる場合があり、農地への復元には相当の費用と時間がかかります。なお、農業用倉庫などの農業用施設を設置する場合も、許可や届出が必要です。

違反転用には厳しい措置が…

3年以下の拘禁刑または300万円以下（法人の場合は1億円以下）の罰金の適用を受ける場合があります。

農地の貸借の手続が一部変更になります

利用権設定等促進事業（相対契約）の新規受付を終了しました。

利用権設定等促進事業（相対契約）は、制度改正により、令和6年度で廃止されました。

新たに、農地を貸借する際には、「農地中間管理機構の事業」または「農地法第3条」による手続をお願いします。

借り手募集情報一覧

番号	掲載開始年 月	農地所在地	筆数	地目	面積 (㎡)
1	2022年 6月	南区鉢ヶ峯寺	1	田	326
2	2022年 6月	南区稲葉3丁	2	田	604
3	2022年 7月	南区和田	1	田	915
4	2023年 3月	美原区平尾	1	田	727
5	2023年 6月	中区陶器北	1	畑	451
6	2021年 12月	南区豊田	1	田	717
7	2024年 5月	西区太平寺	1	畑	1,120
8	2024年 1月	中区陶器北	1	田	1,082
9	2024年 1月	中区上之	2	田	1,228

大阪府農業委員会大会が開催されました

令和7年10月24日、大阪国際交流センターにおいて、(一社)大阪府農業会議主催の「令和7年度大阪府農業委員会大会」が、開催されました。

大会では、「地域計画の実現に関する要請決議」、「食料・農業・農村基本法に基づく施策の拡充に関する要請決議」などが行われました。

また、府内の農業の維持・発展に尽力している女性農業委員の活動が紹介されたとともに東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授の鈴木宣弘氏を講師に迎えて、「コメ生産・流通の現状と課題」をテーマにした大変有意義な講演が行われました。

堺市農業委員会からも農業委員と農地利用最適化推進委員が出席しました。



○本市農地利用最適化推進委員 岸田勝夫氏及び中尾美昭氏が 永年在任者表彰を受けました



岸田 勝夫 委員
(中区)



中尾 美昭 委員
(美原区)

また、今回の大会では、本市農地利用最適化推進委員の岸田勝夫氏及び中尾美昭氏が、通算10年間の委員在任について、表彰を受けました。両氏はともに平成26年7月より3年間、農業委員として、その後、現在まで農地利用最適化推進委員として、地域において農業委員会活動に取り組んでいただいています。

○「なにわ農業賞」受賞者紹介

大阪府農業会議では、地域農業をリードし、大阪農業の存在価値の向上に寄与する先進的な農業経営者を顕彰しようと「なにわ農業賞」を設け、毎年、農業委員会大会において、表彰を行っています。

令和7年度は、府内で7人の農業者が受賞した中、堺市からは、北区金岡町の芝尾健さんが、表彰されました。

芝尾さんは、現在、60歳。

先代は露地栽培が中心でしたが、夏に収益をあげられる作目として大玉トマトのハウス栽培を中心とした経営に転換。以来、農園の中心作目となり、出荷先も市場出荷から共同出荷、直売所での直売に切り替えられました。地域の「農空間づくりプラン」に基づく農道整備にも尽力され、近年は、地元農家の有志と立ち上げた法人の中心メンバーとして農地保全に向けて精力的に活動。学校給食や体験学習を通じた交流など「農」を活かしたまちづくりに取り組まれています。



芝尾 健さん
(北区金岡町・60歳)

農業にいまこそ女性の力を !!

農業委員 及び 農地利用最適化推進委員の募集について

今期 活動いただいている委員の任期が、令和8年7月14日に満了します。
これに伴い、次期委員の募集を予定しております。

募集時期 令和8年2月 (予定)

任 期 3年 令和8年7月15日から令和11年7月14日まで
詳細が決まりましたら、市ホームページと広報さかいでお知らせします。

○ 農業委員

農地の権利移動・転用などに関する現地調査や許可申請に対する審議などを行います。

○ 農地利用最適化推進委員

担当地域の農地調査や農地利用の最適化推進活動などを行います。

※地域農政に多様な意見が反映されるよう、女性や若い方の積極的な応募お待ちしております。

全国農業新聞購読者募集!!

農業者の経営と暮らしに役立つ情報を提供しています。
(全国農業会議所発行)

◎購読料月額700円

※令和8年4月から月額900円に改定

◎月4回、毎週金曜日発行

問合せ 一般社団法人 大阪府農業会議

電 話 06-6941-2701



全国農業新聞普及部数
大阪府トップとして
表彰されました!

農業者年金で 老後の生活を安心サポート

国民年金 + 農業者年金



- 特徴① 農業者なら広く加入できる
- 特徴② 積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い
- 特徴③ 通常加入の場合、保険料の額は自由に決められる
(月額2万円から6万7千円まで)
- 特徴④ 終身年金。80歳前に亡くなられた場合は、
死亡一時金を遺族の方に支給
- 特徴⑤ 税制面の優遇措置が大きい
- 特徴⑥ 政策支援加入なら、保険料の国庫補助がある
(一定の要件あり)

詳しい内容は、**農業者年金基金**で検索していただくか、
☎03-5919-0371 (独立行政法人農業者年金基金) まで
お問合せください。



農委 Column



このコーナーは、編集担当者が堺市の農業委員・農地最適化推進委員の農地を訪ねて、
そこで育てられた旬の作物のおすすめ料理を紹介するコーナーです。

今回は、辻委員からバターナッツを提供いただき、グラタン
とポタージュを作りました。

一般的なかぼちゃよりもねっとりしていてナッツのような
甘さが特徴であるバターナッツを使った料理は、どちらも素
材の甘みがしっかり感じられ、とても濃厚で満足感のある味
わいでした。

特に、ポタージュはクリーミーで濃厚な甘みが際立ち、少し
特別なスープに感じました。私自身、初めてバターナッツを食
べましたが、名前の通りとても甘く美味しかったので、またど
こかで見ついたら購入したいと思います。



グラタン
(バターナッツの皮を器に使用)



ポタージュ

おまけに、辻委員が研究し開発した
いちごハウスを見せていただきました